

不祥事防止研修会実施報告（第8回）

学 校 名	三次市立田幸小学校
研修テーマ	「ヒヤリハット」について
研修担当者	教務部 上久保 京子
研修日時	令和4年10月6日（木） 15：20～15：45
参加人数	10名
実施形態	講義・協議
使用資料等	○「ヒヤリハット報告の活用手引き」大分県教育庁特別支援課 作 ○学校管理下の災害 学校安全 WEB
研修の概要	① 資料から学校での事故が起こりやすい状況について考える。 ② ハインリッヒの法則について確認する。 ③ 事例をもとに問題点と改善策を考える。 ④ 担当者，校長がまとめる。 ⑤ 各自が振り返りを記述する。
研修を終えての 気づき等	○ 何が危険かということをいろいろ想像しながら，予知と回避ができるよう日頃からシュミレーションすることを心がけたい。 ○ 正常性バイアスが特に厄介だと思う。脳的作用だとはいえ，気をつけて事実・現実に基づいた対応をしていきたい。 ○ 事故が起こった場合，パニックにならず冷静に判断して対応することが大切だと思う。もしかするとこうなるかもしれないと想定して行動することもけがや事故の防止につながると思う。 ○ たぶん大丈夫と思わず，もしかしたら何か起きるかもとシュミレーションをしておくことも必要だと思う。今度，よくある事故について，一番最初にしておくことについて研修をさせてもらいたい。 ○ 危ないと思ったことがあれば，学校全体で情報共有し，安全を確保していくことも必要だと思った。 ○ 「もしかしたら」と感じたときは，大丈夫だろうと判断せず，適切に対処することが安全につながるかと再認識した。安全点検などもこういう視点をもって行っていきたい。 ○ ヒヤリハットは本当に身近であと少しで大事故になるところだったとなる前に，細かいことにも目を向けていきたいと思う。蜂や蛇など，危険な生物についての知識も必要だと思った。 ○ いろいろな事例から，「自分ならこんな時どうするか」という視点で考えるきっかけになってよかった。いこは突然起きることもあるので，パニックにならないように，日頃からどう対処すればよいか冷静に考える習慣をつけていきたい。